

学校図書館の奉仕活動の実践

(第 3 報)

加藤 貞夫・佐藤 クニ子

I ま え が き

10年間慣れ親しんだ芳野町の校舎も、その図書館も、こととして最後になる。東山の新校舎とその新しい図書館に移転するに当たって、振り返ってみると、本校図書館が辿って来た足跡は、実にたどたどしい年月であった。豊川校舎から芳野町の校舎に引越した年は、たまたま学校図書館法が公布された。そして、学校図書館は学校教育に欠くことのできない設備であり奉仕と指導の二大支柱を中心にその活動が要請された。この要請に本校図書館はどのように対処したらいか。それは、全く試行錯誤の連続であった。当初は図書整理にのみ追われており、なかなか学校図書館本来の活動に着手することができなかった。最近になって、ようやく実践報告という形で、本研究の第1報および第2報を発表した。今回は、総合的に芳野町校舎での成果をまとめる意味で「学校図書館概要1962年版」を発行した。よって、本報告は上記「概要」について述べることにする。

II 「学校図書館概要」の発行

① 整理、利用の方式を具体的に成文化するために
年毎にますます増大してくる図書や図書以外の資料を、学習指導や教育研究に有効に利用するためには、それらの整理方式の確立が必要である。というのは、整理の方法に、統一性と一貫性があってこそ、資料の利用は容易になるからである。本校図書館も本校の置かれている条件と、可能性の上に立って、整理の方式を決めなければならない。例えば、貸出法をノート式より二票式ブックカード法に改めて、貸出事務の能率が飛躍的に増した。今日では普通のことでも、当時してみれば大英断であった。以上の例はよかった事例であるけれど、沢山失敗をし未だにその処理に困っていることが多い。ただ、現在まで本校図書館がやっていることをできるだけ具体的に成文化してみて、これらを基に更によいものを造り上げたいと思っている。
成文化したのものには、次のようなものが掲げられる。即ち、図書部内の仕事の分担を決めた職務内容、

図書など選ぶための資料選択委員会規定、図書など選ぶためのめやす(選択基準)同じく廃棄のめやす(廃棄基準)(インホームেশョンファイル資料廃棄基準)図書館内の部屋使用の規定、および冬季のストーブ使用規定を定めて来たのでまとめた。

この他に今年度改訂した入館者心得と、図書貸出規定がある。前者の入館心得は、生徒にぜひとも守らせたいのであるが、図書館側においても十分その可能性のある心得だけに限定した。後者の図書貸出規定は、学校図書館の正否の鍵を握るものであるもので、とくに今回これを改めて、利用しやすく管理しやすいものにした。従来通り館外貸出に重点を置くために、その内容と方法をできるだけはっきりと区別した。普通貸出、一夜貸出(週末貸出)団体貸出、予約貸出と卒業生および教官への貸出を定めた。

普通貸出とは平常の貸出であって、貸出冊数を今までの2冊以内を3冊以内に増加した。但し小説類は1人1冊として、教科に関するものは2~3冊貸出しすることにした。とにかくあいまいであった貸出図書の破損、亡失についての罰則も明確にした。団体貸出は、特定の内容で集めたテーマ図書、新着書なども含めて、クラブなどへの団体貸出の規定である。この貸出は下記②に関係があり、今後大いに力を入れたい分野でもある。卒業生およびPTAへの貸出もはっきりさせた。最後に予約貸出であるが、これは生徒たちの読書計画を確立させるために、今後の学校図書館活動において最も重点を置きたい活動の一つである。予約の冊数、優先順位などについても、本校の実状から具体化した。

図書の整理であるが、購入した図書をどのような経路で、どのような方法に整理するかをまとめた。一つの押印にしても、ラベルしても、美観と能率とそして管理面より定めた。今回からはブックカードを早目に作成して、新着書として特別貸出をするようにした。

また、事務の能率化のために、いろいろの形式のカードを作成して、記入洩れのないこと、同時にスピード化をはかっている。即ち、寄贈受付票からすぐ礼状(礼文の印刷してある)を出せるようにしている。図

書館の部屋を使用するときの部屋使用カード、予約貸出のための予約者への通知票、返却請求票、さらに毀損亡失の始末書の様式まで作成した。その他保存用図書に押す印、正誤訂正したことを示す印なども定めたのである。

② 諸教材、諸資料のダイナミックな利用のために
 図書だけでなく、広く関係する諸教材、諸資料を集中的に利用できれば、極めて有効といえよう。ある事柄を学習し、その内容に関するテレビ番組、放送テープ、スライド、地図、模型そして図書などがダイナミックに活用できれば、学習効果は上るであろう。それで学校図書館が学校教育の孤立した存在であるならば図書の整理も徒労となりかねない。そこで、本校では図書部、視聴覚部、研究部および学校運営委員の代表者によって、資料センター委員会を組織した。それぞれの協力によって、次の資料の整備を行って来た。

郷土資料目録、掛図、図表目録、学校としての受賞目録、卒業式の式辞目録、卒業アルバム目録、学校新聞（進路）目録、さらに生徒の文集、作品、名簿、校章なども収集している。またパンフレット類はインホームーションファイル資料として、一般件名の他に進路、地図、観光、生徒会、クラブなどの件名を作成して、その収集、利用に努めている。とくに大学受験の進路資料はよく利用されている。

教育研究を推進するために、研究紀要と、教育関係雑誌の合本整理と、それぞれの目録を作成した。また理科教育資料の分類表の作成と、それにもとづくパンチカードによる文献整理の実施を手がけている。又中学校および高校の戦後の教科書、学習指導要領の保存に努め、市内にある教育研究用図書室の利用の手引きも作成した。

さらに校内にある視聴覚機具や資料および印刷用具などの資料も収集した。全体的に見て、目下は総合的な資料所在の調査段階であり、総合利用は今後に期待している。

③ 読書意欲を盛り上げるために

学校図書館は、終局には生徒たちのよき読書生活を確立するための存在でなければならない。このために本校図書館が取り上げている積極的な面は、昨年度より読書感想文コンクールを実施していることである。今年度は高三を除く全校生徒に、夏休みの課題として読書感想文を課した。その際の参考に、教官の推せん書、良書百選と、夏休みに読んでおきたい科学読み物などの目録を渡した。この表彰は読書週間に行い、さらに優秀作品は青少年読書感想文コンクール県予選に参加させた。この他、次の目録を作成した。即ち個人で持っていてほしい国語や英語の辞書の目録、学校図書

館にあって利用してほしい百科事典などの目録、および推せん学習参考書目（国語・社会・数学・理科・英語）がある。また社会科倫理学習のための目録、および母親文庫の目録を作成した。

中学の道徳、高校のホーム・ルームのカリキュラムに、読書と人生についての話し合いを設定し、また入学時のオリエンテーションなど図書館教育の場として活用している。

④ 学校図書館のよりよき前進のために

学校図書館は費用と時間のかかるものであって、整理にのみ追われていたのでは、よりよき発展は期せられない。たえず工夫と洞察により、一步前進することも、あるいは一步後退することもある。常にその意図を十分にPRすることが必要である。本校図書館ではガリ版刷りの館報を発行して、逐一活動を流している。市内公共図書館利用の手引きを作成し、アメリカ文化センターより団体貸出を受けて喜ばれている。（これを「アメリカ文庫」と名付けている）又卒業生へ校長先生のことばの記念文と共に個人カードを送ったり、夏休の臨海学校で臨海文庫を開設したりしている。また生徒図書委員が生き生きと活動できるように配慮することも、よりよき学校図書館活動の原動力となるだろうことを信じている。

III おわりに

6才を数えた本校の図書館概要も、実をいえば、紆余曲折、失敗の連続記録である。僅かばかり校内にある資料の目録作成や整理、利用の方式を具体化しただけである。しかしまだこれらが学校図書館利用の有効な手段となるかは未知数である。ただ、学校図書館が書庫的存在から離れて、機能としての力に脱皮するための、ささやかな試みにしか過ぎない。本校が待望の東山に移転するに際して、この概要がその礎石になれば幸いある。

本稿をまとめるに当たって、昨年3月東京大学医学図書館に於ける、全国学校図書館指導者講習会に、愛知図書館協会より参加させて頂き、種々示唆を得た。ここに謝意を表したい。さらに、本校図書館の危なげな足取りにも拘らず忠告と、協力を惜まなかった多くの方々と、黙々として整理に専心した文部事務官杉浦三良氏、そして中山滋子嬢に心からのお礼を申し上げます。とくに前記杉浦氏は、芳野町校舎での10年間に及び氏の愛情は一冊一冊の本の中に刻み込まれている。ここにそれを申し添えておきたい。

参考文献 全国学校図書館協議会編
 図解・学校図書館の実務
 「図書の配架と運用」

I 入館者心得

1. 休館日は次のようです。
①日曜日・祭日 ②体育祭・文化祭等学校行事の日 ③学校図書館が会場になったとき ④学校図書館の整備のとき
2. 手がよごれているときは、洗ってから入りなさい
3. 携行品は入口のロッカーのところに置きなさい。
4. 使用した資料は自分で確実に返すようにしなさい
5. 第一読書室では静かに勉強しなさい。
6. 辞書、事典はできるだけ近くの机で、静かに読みなさい。
7. グループの研究などには読書室を使い、また資料室を使いたいときは申し出なさい。
8. わからないことがあったら気安くたずねなさい。

II 図書貸出規定

1. 普通貸出
 - ア、方法
 - ① 図書館に備え付けてある個人カードと本の中にあるブックカードに所定のことを記入して本と共に受付けに出す。
 - ② 日附印を押されたら個人カードだけは自分でもとの所へ返しておく。
 - イ、冊数
3冊以内とするが、小説は1冊とする。
 - ウ、期間
借りた日と返却日を含めて一週間。
 - エ、返却
借りた本に、個人カードを添えて受付けに出す。但し、午前中に限り受付をH・R毎に図書委員が扱う。
 - オ、期限超過
第一回請求は図書委員を通じ、第二回以後は、H・R担任を通じて請求する。
 - カ、罰則（一夜予約貸出も同じ）
毀損、亡失などのときは、始末書に記入し、相当額弁償をする。
2. 一夜貸出（週末貸出）
 - ア、対象となる図書
禁帯出の図書（辞書・事典など）
新着書（テーマ図書）とする。
 - イ、方法
普通貸出と同じであるが、司書の先生のところへ願ひ出る。
 - ウ、期間
貸出終了後30分前から翌朝始業時間まで

（週末貸出のときは月曜日）

3. 予約貸出
 - ア、方法
図書又は書名を受付に申し出て「予約貸出カード」に記入する。
 - イ、期間
1ヶ月前から予約できる。
 - ウ、優先順位
1 教官 2 クラブ等公認団体 3 個人
 - エ、冊数
ウの2・6冊以内 ウの3は普通貸出と同じ
4. 団体貸出
 - ア、方法
団体名簿名義の個人カード(顧問クラブ長名記入)は顧問教官のところへ置いておく 以下普通貸出に同じ。
 - イ、冊数
6冊以内を原則とする。(研究や活動に無関係の図書は含まれない)
 - ウ、期間
20日間
 - エ、返却
貸出した図書を全て返却しない限り次の貸出を行わない。
 - ウ、罰則
毀損、亡失などの弁償は始末書を出し、クラブ費なから差引く。
5. 卒業生貸出
 - ア、方法
 - ①教官又は在校生の保証人があること。卒業生個人カードに記入する。
 - ②受領通知又は返却請求用として5円のハガキ1枚に住所・氏名を書いて提出すること。
 - イ、冊数
3冊以内、(禁帯書および利用度の多い図書は除外)
 - ウ、期間
2週間
 - エ、罰則
亡失などの弁償は始末書を出し相当額を納める。
6. 教官貸出
 - ア、方法
既整理本はブックカードに記入する。未整理雑誌などは個人カードに記入す。
 - イ、冊数
必要冊数
 - ウ、期間
2ヶ月間

Ⅲ 受 賞 目 録

37. 11. 20

年月日	受 賞 者	受 賞 内 容	受 賞 種 別
24. 5.28	中	卓 球（女子）2位	第3回憲法実施記念体育大会支所予選
24. 5.28	〃	〃（男子）優勝	〃
24. 6.11	〃	籠 球（女子）〃	〃
24. 6.11	〃	〃（男子）〃	春季籠球大会
24. 7.24	〃	軟式野球 優勝	〃
24.10.23	〃	籠 球（男子）優勝	第3回豊川市体育芸能祭
24.10.23	〃 神谷満・稲垣さち・菅沼淳子	卓 球 3位	〃
24.10.23	〃	籠 球（女子）優勝	〃
24.11.27	〃	〃	東三中学籠球大会
24.12. 4	〃	蹴 球 2位	東三中学蹴球大会
25. 5. 5	〃	籠 球（女子）優勝	春季籠球大会
25. 9.10	〃 鈴木 啓之・近藤 一義	庭 球 3位	豊川市営コート披露東三中学庭球選手権大会
25. 9.10	中	籠球（女子三年）1位	第3回豊川市中学校籠球リーグ戦
25. 9.10	〃	〃（女子二年）1位	〃
25. 9.10	〃	〃（男子二年）1位	〃
25.10. 6	〃	〃（男子）2位	支所主催中学校籠球大会
25.10.14	〃 藤井美和子・大塚 康子	軟式庭球 優勝	第4回豊川市体育芸能祭
25.10.14	〃 近藤 一義・鈴木 啓之	〃 〃	〃
25.10.14	〃 太田とよ子・村井 澄子	〃 2位	〃
25.10.14	〃 山本 哲子・渡辺 孝子	〃 3位	〃
25.10.15	〃	籠 球（女子）優勝	〃
26. 1.28	〃	〃 1.2 女子総合 〃	中学校籠球大会
26. 1.28	〃	〃 1.2 男子総合 〃	〃
26. 1.28	中	籠 球（2年）女子 リーグ戦 優勝	〃
26. 1.28	〃	〃（1年）〃	〃
26. 5.13	〃	〃（3年）男子〃	豊川市内中学校大会
26. 5.13	〃	〃（2年）女子〃	〃
26. 5.13	〃	〃（3年）女子〃	〃
26. 6. 3	〃	〃（男子）4位	東3中学校籠球大会
26. 6. 3	〃	〃（女子）2位	〃
26. 7. 1	〃	軟式野球 〃	中学校軟式野球大会
26.11. 3	〃	籠 球（女子）1位	講話記念豊川市体育芸能祭
26.11. 3	〃	〃（男子）〃	〃
26.11. 3	〃	陸上 400米リレー4位	〃
26.11. 4	〃	〃（男子）優勝	〃
26.11. 4	〃	〃（女子）3位	〃
26.11. 4	〃	〃 800米リレー2位	〃
26. 9.13	〃 七里鬼窪組	軟式庭球（男子）〃	中学校軟式庭球大会
27. 9.13	〃 高須今泉組	〃（女子）1位	〃
27.10.26	〃	〃（男子）3位	講話記念第6回愛知県中学校総合体育大会
28. 2. 1	中	籠球（2年）女子1位	豊川市中学籠球大会

特 別 研 究

28. 2. 1	中	籠球(2年)男子1位	豊川中学籠球大会
28.11. 1	〃	庭 球(中学)優勝	市制10周年記念 豊川市体育芸能祭
30. 2. 5	〃	参加賞	第2回東海三県学校図書館コンクール
31. 2.15	〃	優良賞	第3回 〃
32. 2.16	高	第2位	第4回 〃
33. 2.22	〃	〃	第5回 〃
34. 8.27	〃	軟式野球 優勝	第2回定期交歓競技大会 (対金大付属)
34. 8.27	〃	バレーボール(女子)〃	〃
34.12.23	〃	褒 状	昭34. 9月 の伊勢湾台風による 風水害にあたり災害の復旧被災 者の救援愛知県知事より
35. 8.25	高	バレーボール(男子)〃	第3回交歓競技大会
35. 8.25	〃	卓 球 〃	〃
35. 2.20	〃	優 秀 賞	第7回東海三県学校図書館コンクール
36. 3. 4	〃	〃	第8回 〃
36. 8.28	〃	バレーボール(女子)〃	第4回交歓競技大会
36. 8.28	〃	バドミントン 〃	〃
36. 8.28	〃	綜 合 優 勝	〃
36. 8.28	〃	卓 球	〃
36. 8.28	〃	卓 球(女子)優勝	〃
37. 2.23	〃	優 秀 賞	第9回東海三県学校図書館コンクール
37. 7.29	〃	ソフトボール (男子)優勝	第5回交歓競技大会 (対金大付属)
37. 7.29	〃	〃 (女子) 〃	〃
37. 7.29	〃	庭 球 〃	〃
37. 7.29	〃	バレーボール(男子)〃	〃
37. 7.29	〃	籠 球(女子) 〃	〃
37. 7.29	〃	バドミントン 〃	〃
37. 7.29	〃	綜 合 優 勝	〃
37.11.24	〃 西川潔 飯田浩康組	庭 球 3位	名古屋地区新進選手権大会

Ⅲ 卒業式式辞目録

卒業式 年月日	送 辞	中 学 校	答 辞	卒業式 年月日	送 辞	高 等 学 校	答 辞
25. 3.16	今 泉 淳	(1)	金 原 紀				
26. 3.25		(2)	杉江みな子				
27. 3.25	津 田 敬 吾	(3)	塚 田 禎 子	28. 3.11	(杉江みな子)	(1)	牧 野 賢 治
28. 3.11	榎 本 尚	(4)	本 間 瀬 正 子	29. 3.11	小 野 賢 治	(2)	平 松 や よ 子
29. 3.11	矢 野 弘 美	(5)	平 松 義 夫		本 間 瀬 正 子 (名古屋代表)		
30. 3.10	天 神 紘 一	(6)		30. 3.10		(3)	筒 井 廷 宏
31. 3. 9	宮 部 順 三	(7)	佐 藤 理 子	31. 3. 9	田 中 智 香 子	(4)	村 田 啓 三
32. 3. 9	久 保 和 賀	(8)	宮 部 順 三	32. 3. 9	中 島 厚	(5)	和 田 重 考
33. 3. 8	田 中 美 也 子	(9)	服 部 忠 一 朗	33. 3. 8	重 松 宗 男	(6)	野 間 美 喜 子
33. 3. 7	安 藤 俊 明	(10)	間 瀬 優 子	34. 3. 7	小 池 荀 子	(7)	岩 月 舜 三 郎

学校図書館の奉仕活動の実践（3報）

35. 3.14 田 中 信 雄 (11) 日 置 雅 子 35. 3.14 杉 浦 日 南 子 (8) 浅 野 伸 一
 36. 3.14 加 藤 久 男 (12) 肥 後 保 子 36. 3.14 間 瀬 優 子 (9) 水 谷 正 紀
 37. 3.12 赤 池 憲 彦 (13) 高 橋 礼 子 37. 3.12 岡 部 詔 子 (10) 豊 田 正 勝

V 卒業アルバム目録

中 学 校			高 等 学 校		
卒業年	卒業回数	アルバムの有無	卒業年	卒業回数	アルバムの有無
25	1				
26	2	○			
27	3	○			
28	4		28	1	
29	5		29	2	○
30	6	○	30	3	
31	7		31	4	○
32	8	○	32	5	○
33	9		33	6	○
34	10		34	7	○
35	11	○	35	8	○
36	12	○	36	9	○
37	13		37	10	○

IV 推 選 辞 書 目 録

(家庭学習用)

書 名	著 者	出 版 社	特 色 (対象)	価 格
国語科 角川漢和辞典	貝塚茂樹 他2	角川書店	新字体、旧字体どちらでも引ける。一字ずつの音義の説明もよく、高校生には出典も示してあるので参考になる。(中・高)	950
修訂増補 評解漢和大字典	服部宇之吉他1	富山房	とくに旧字体の漢文の学習によい。(高)	1,500
新版広辞林	金沢庄三郎	三省堂	語彙の量解説ともに適当である。新仮名づかいに準じて書いてある。(中・高)	1,300
広辞苑	新村出	岩波書店	語彙が豊富、説明も非常に詳しい。用例豊富で言かりやすい。(中・高)	2,300
三省堂国語辞典	金田一京助	三省堂	} 簡便な辞書として適切である。	420
新選国語辞典	金田一京助他2	小学館		480
明解古語辞典改訂版	金田一京助	三省堂		480
角川古語辞典	武田裕吉	角川書店	活字大きく読みやすい。挿絵も多いので特に入門期において使いやすい。(中3~高2)	480
英語科 新ポケット 英和辞典	岩崎民平	研究社	説明例文がよい。ひきやすく、中学生から大学生まで使える。	850
新クラウン 英和辞典(ポケット版)	河村重治郎	三省堂	活字が見やすく絵入りなので楽しく使える学習上好適な例文多く親切である。(高)	420
岩波英和辞典 (ポケット版)	島村盛助	岩波書店	発音、文法的説明がすぐれている。用例はやや高度な文が多い。(高)	630
新簡約英和辞典	岩崎民平	研究社	やや高度だが説明豊富。辞典としては権威がある。(高校上級・大学)	1,350
熟語本位 英和辞典	斎藤秀三郎	岩波書店	非常に文学的の用例が多く英作に役立つ。(高校上級・大学)	1,200
新ポケット 和英辞典	増田綱	研究社	英作のコツをのみこむのに適した例文が多い。(高校上級・大学)	850
コンサイス 英和辞典(ポケット版)	三省堂編修所	三省堂	英々辞典としては、最も初歩的なものの一つで高校初級用としても活用できる。	450

特 別 研 究

Ⅶ 百 科 辞 典 目 録

書 名	卷 数	編 集・出 版	特 色
玉川 百 科 大 辞 典	31	玉 川 大 学	数学、経済、文学というように各巻がそれぞれの専門に別れているので専門的な深い知識を系統的に得るために、1冊だけ読んでも面白い。
国民 百 科 事 典	7	平 凡 社	小学生から社会人に至る広範囲な階層を対象にしているので学習のための基礎資料をはじめ社会や科学について基本的な知識、実用上の手びきとして役に立つ。
世界 大 百 科 事 典	32	平 凡 社	世界的視野に立って編まれ、政治、経済、社会のあらゆる問題を専門的な立場から、かなり高度に扱っている。
小 百 科 事 典	1	平 凡 社	必要と考えられる項目を重点的に採録し、それについての資料を最も簡潔に提供している。
学生 の 百 科 辞 典	1	中 教 出 版	中学生、高校生の参考書としての百科辞典。
中 学 生 百 科 辞 典	1～		中学生向きのもので、机上において常に利用するのに適している。
児 童 百 科 事 典	()	平 凡 社	小学生、中学生向きで易しい。
私たちの生活百科事典	17	生活百科刊行会	衣、食、住の問題を大項目別に扱っているので系統的に読んでいって、まとまった知識が得られる。小、中学生向きである。
Collers Encyclopedia	20		} 高校生なら十分読むことの出来る小項式のアメリカの百科事典である。
New Standard	14		
大 人 名 事 典	10	平 凡 社	人名について調べるにはこれが一番詳しい。
世 界 名 著 大 事 典	7	平 凡 社	古今東西のあらゆる分野から古典的な書物をえらんでのせてある。ある本について、どんな内容か、作者は誰かなど知りたい時に利用するとよい。

Ⅷ 郷 土 資 料 (本校図書館所蔵)

分 類

昭和37年11月5日

A 009	尾参遠郷土史論	日本歴史地理学会編	大正 6
A 017	学校図書館研究紀要 No 2~3	愛知図書館協会	昭 36
A 029	名古屋大学蔵書目録	名古屋大学附属図書館	” 37
A 059	愛知年鑑	中部経済新聞社	” 31
”	”	”	” 33
A 201	名古屋70年史	名古屋市役所	” 34
A 209	郷土の歴史 中部篇	中村栄孝等	” ”
A 210	三 河 志	渡辺政香	
A 215	名古屋叢書 第6巻	名古屋市教育委員会	” ”
A 224	国史上より観たる豊橋地方	大口喜六	” 12
A 240	僕等の愛知	栗原光政	” 25
A 251	名古屋城御土居下考説	岡本柳英	” 35
A 253	名古屋市中区史	鷺尾重一	” 19
A 264	知多郡志 全	徳川家編	
A 271	丹羽郡志 全	”	
A 272	葉栗郡志 全	”	
A 273	中島郡志 全	”	
A 274	海東郡海西郡志 全	”	
A 280	愛知県名土録	古瀬鮎香	昭 30

学校図書館の奉仕活動の実践（3報）

A 290	図説 蓬左風土記	同誌編集委員会編	昭
A "	愛知の史跡と文化財	愛知県文化財保存振興会編	昭 37
A "	名古屋繁昌記	日本文化出版社	昭 34
A 291	中部日本新風土記	原田比呂士	" "
A 302	東海大観 1955版	朝日新聞名古屋本社	昭 30
A "	" 1956版	"	" 31
A "	東海現勢	東海通信社編集室 原田宏編	" 30
A "	東海の新地図	原紀久雄	" 33
A 314	愛知県議会史 第一卷	愛知県会事務局	" 28
A "	" 第二卷	"	" 32
A "	" 第三卷	"	" 34
A 318	名古屋市概要	名古屋市	
A 338	東海銀行史	同史編纂委員会	" 36
A 350	愛知県統計年鑑	愛知県	" 34
A "	名古屋市統計年鑑	名古屋市	" 31
A "	"	"	" 32
A "	"	"	" 33
A "	"	"	" 34
A "	"	"	昭 35
A "	"	"	" 36
A "	愛知県市町村要覧	愛知県	" 26
A 352	市勢要覧	豊川市役所	" 28
A 358	数字が語る名古屋	名古屋市	
A 365	市民生活の手引き	名古屋市広報課	" 36
A 370	新教育の実践と批判 第一集	名古屋大学岡崎高等師範 学校附属中学校教育研究会	" 26
A 370	" 第二集	"	"
A 372	創立60周年記念誌	同誌編集委員会	" 33
A "	創立10年誌	創立十周年記念出版委員会	" 32
A "	岡崎高等師範学校誌	同誌発行委員会	" 25
A 369	名古屋市の民生事業	辻村仁三郎	" 33
A 374	名古屋大学教育学部附属 中・高等学校紀要 第1集	同校編	" 30
A "	" 第2集	"	" 31
A "	" 第3集	"	" 32
A "	" 第4集	"	" 33
A "	" 第5集	"	" 34
A "	" 第6集	"	" 35
A "	名古屋大学教育学部附属学校同窓会名簿	同会 "	" 35
A "	金城六十年史	金城学院	" 24
A "	学園50年を語る	須田昌平	" 29
A 370	愛知県教育関係職員録	愛知県教育振興会	" 29
A "	"	"	" 37
A 375	耕 名大附高誌 1	同校生徒会学園誌作成委員会	" 35
A "	" " 2	"	" 36
A "	" " 3	"	" 37
A "	野葡萄 1号～4号	同校編	昭 26～27

特 別 研 究

A 377	名古屋大学教育学部紀要 第1巻—第9巻	同学部編	昭 30~37
A "	名古屋大学一覽	同校庶務部庶務課	" 37
A 517	伊勢湾台風記録 上・下	中部日本新聞社	" 34
A "	伊勢湾台風災害誌	"	" "
A 522	名古屋城史	名古屋市	" 34
A "	建築のあゆみ	"	" 35
A "	名古屋城大鑑	城 戸 久	" 27
A 537	トヨタ自動車20年史	トヨタ自動車株式会社 社史編集委員会編	" 33
